

のり養殖通報第7報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議 平成29年11月17日発行

【気象・海況】 栄養塩はやや減少

- 気温は11月6～11日にかけて平年より高めで経過したが、12日以降はほぼ平年並みで推移している。気象予報では今後も周期的な低気圧の通過による降雨があり、気温は平年並みで経過すると予想されている。
- 11月13～14日の観測では、全域で植物プランクトン（優占種は小型の珪藻）が増加し透明度がやや低下。その影響で栄養塩は窒素、リンともに11月1日の観測値よりやや減少したが、現時点ではほぼ問題の無い量が含まれている。表層水温は前年同期とほぼ同じ17～18℃台（表1）。
- 新富津漁協自動観測ブイによる観測値では水温は10月末までは順調に低下し前年より2℃程度低めで推移していたが、その後は気温の上昇に伴って降下が鈍り現在はほぼ昨年と同じ18℃台で停滞している。

【今後の留意点】 良い場所を有効に

- 徐々に収穫が始まっていますが、場所によってはノリ芽の短縮化が続いています。この短縮化は魚類、鳥類の食害や水温停滞の影響など様々な要因が考えられます。
- 当面は良い場所を有効に活用し、食害防止などの対策を施しながら状況好転を待ってください。
- 東京湾漁業研究所でも生産者の方々と連携して実態把握と原因解明に向けた取り組みを続けていきます。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。
 次回は12月6日頃発行します。

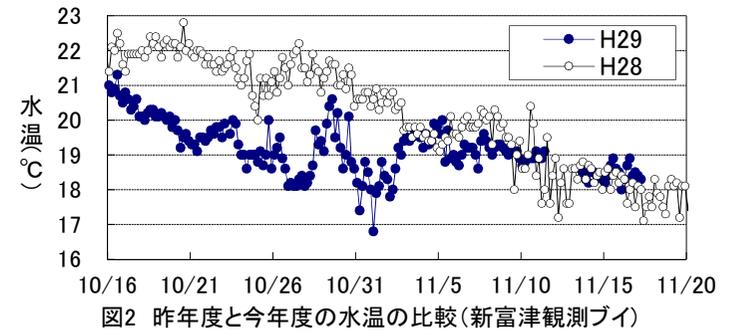
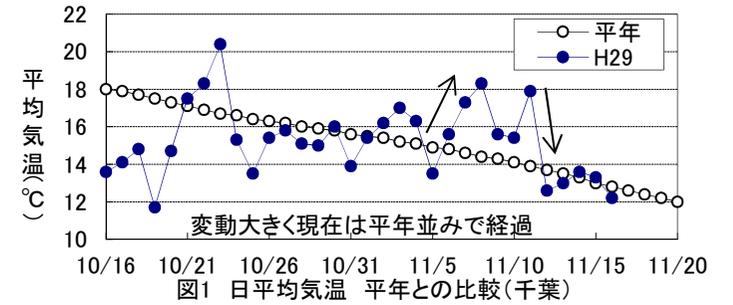


表1 水質観測結果(内湾 11/13, 内房 11/14)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	17.3	29.2	8.3	4.8	507	28
盤洲Cブイ	18.7	30.4	8.4	4.2	324	17
盤洲Bブイ	18.1	30.0	8.5	3.7	316	13
盤洲Aブイ	17.8	30.4	8.5	3.2	283	11
富津ベタ	17.8	30.6	8.3	3.3	301	13
2海ほ下	18.4	31.4	8.3	4.0	236	13
1海ほ下	18.6	31.9	8.3	4.5	192	12
下洲ベタ	18.4	31.9	8.3	4.4	201	12
大貫ベタ	18.4	31.7	8.3	4.5	116	6

*溶存無機態窒素 (μg/l) 、 **リン酸態リン (μg/l)

※高色調のノリの生産に必要なレベル 窒素 110 リン 8

ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル 窒素 90 リン 5